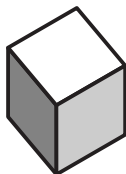


1) キューブの数を数えさせる(持っている方法で)。
 2) 次にキューブの各部位の積み数を数えて点などの「記し」をつけ、それらを通して数えさせる。1)の結果と照合し確認。差があれば正しいいかなど対話。
 3) 正答:A20,B45。答を書く場所も判断(枠内が妥当)。

a) 3次元の空間認識に基づき推論。
 b) 左記手順(2)は、知覚的な解決過程から論理的・分析的な解決過程へと問題解決の方向の発展を促している。これにより複雑な問題にも対処が容易になる。
 こうした体験はいずれ様々な場面に一般化される。

Date /
 Note /
 評



キューブはいくつ？

A

B